

サニ-フル-ツ
ファ-ニ-ハ-ブ

初夏のフルーツ・ハーブ紀行

Early summer travelogue.



雨をかきわけてたどり着いた畑。
ハーブの香る、小さな旅へ



近ごろの天気予報は外れないなあと思う。頬に降りかかる雨粒をよけるようにして、「Chamitsulle BAKES & HERBS」江藤弘明さんの畑に案内していただいた。店から車で約10分の場所にある畑は、まわりのどの畑とも違って見える。聞けば、写真家であり有機農家の野中元さんの紹介により借りられた畑だという。

南外輪山の麓にたえず小さな畑で、農薬不使用、オーガニック栽培のハーブを育てる江藤さん。雨の霽をたっぷり宿したハーブは、生き生きとしてうれしそうだ。「僕らのハーブが割とすんなり育つことができたのも、元々の土のもつパワーがよかったんだと思うんです。この場所で大切に使われてきたことがわかる。僕もいずれはこの畑を次の世代につないでいくことを考える。やっぱりきれいな土で育ててあげたいなあって思います。こういう環境だと、気持ちよさそうなんですよね。ハーブたちが」。

北九州に生まれ、飯島の地域おこし協力隊時代にハーブに魅せられた江藤さんは、九州を拠点とするハーブティーの会社でハーブ栽培・加工のノウハウを学び独立した。妻の志帆さんが焼くイギリス・アメリカの家庭で受け継がれてきた焼き菓子と弘明さんが手がけるハーブティーを取り扱う「Chamitsulle BAKES & HERBS」は、オープン2年目にして南阿蘇村の人氣店に。それでも、ハーブを育てる量は「自分たちの店で使うくらいの規模」で十分と語る。「広げるよりも一つひとつを慈しみながら、深めていければ。この場所で好きなことを続けてやっていくのが2人の夢だったから、負いませぬ。無理もしません(笑)。自分たちのペースで楽しもうと思えます」。

店名の「カミツレ」は、カモミールの和名だそう。「さきやかに強く生きる」を意味する花言葉の、何と似合うことだろう。



江藤弘明 Hiroaki Eto

1986年北九州市生まれ。「Chamitsulle BAKES & HERBS」代表。鹿児島・飯島での地域おこし協力隊時代にハーブに魅せられ、妻の志帆さんとともに南阿蘇村に移住。南阿蘇村・下田の農園でオーガニックハーブを育てる。



畑では常時10種類ほどのハーブが健やかに育つ。弘明さんが育てたローズマリーやラベンダーを使った焼き菓子は、ハーブそのものを食べているようにフレッシュな香りがみずみずしい。志帆さんがつくりたいお菓子を起点にハーブをつくることも、その逆もあるという。



収穫の朝。初夏のビニールハウス。
青い香りを思い切り吸い込んだ

フルーツをつくり、人とつながる。
ハーブを育てて、町とつながる。
積み上げられた歴史を味方につけながら、「農」をかるやかに切りひらく、若い2人の畑を訪ねた。

びっしり覆われた大きな葉っぱとつるに足をとられそうになりながら、メロンの波をこぎ分けてすむ。「知ってます？ 農業従事者における10〜30代の割合って全体の5%以下だそうですよ」。西川徹さんが振り返って笑った。

熊本市区にある「西川農園」の4代目で、1984年生まれの37歳。業界的にいうと「超若手」といったところだろうか。西川農園といえば、九州ではめずらしい「桃狩り」が体験できる農園として有名。この桃の栽培を始めたのが徹さんだ。摘果シーズンを迎えると、元パティシエである妻

の真代さんが発信する、農園のフルーツを使ったレシピも人気の秘密。つくったあと、持ち帰ったあとのフルーツのある暮らしを、もっと楽しんでもらうためのチャレンジだ。「今は本当に、農に関する情報が多すぎて、つくり手も消費者も、お互いの主張が行き違う時代が長かった気がしています。近隣の畑もほとんどが後継者不足で悩んでいるなか、理想だけでも僕たちも「こんなこだわりをもってこんな想いでフルーツを育てている」と伝える努力を怠ってはいけないなど、だから

消費者の方にも、もっと農業の実情や現場に興味をもっていたら嬉しいと思います。そのために圃場を開放して桃狩りを始めました。お互いの歩み寄り「コンテナの上に置かれた採れたての肥後グリーンを齧る。果汁があふれる。甘みが全身を駆けめぐる。フルーツは加工しない限り、その過程においてごまかしの効かない農作物であることを実感する。ハウスいっぱいに広がる青い香りとともに、西川さんが放った言葉の意味を反芻する」。



西川 徹 Toru Nishikawa

1984年熊本市生まれ。熊本農業高校、熊本県立農業大学を卒業後に就職。「五感で楽しむ農園づくり」がモットーの西川農園4代目。一社「アグリウォーリアーズ熊本」所属。大人気の桃狩りは、毎年6・7月の週末に開催。くわしくはSNSなどで確認を。

西川農園
熊本市区和泉町1669-1
☎ 096-245-2744
@nishikawa.noen



ブドウ、メロン、桃などを家族で育てる西川農園。「とくに引退して、悠々自適な生活をおくっと思つた」と笑う3代目は、今も365日中361日出荷に向かう働きもの！ 濃い緑色の果肉が美しい「肥後グリーン」は、おもに熊本で栽培されるメロン。さくさくとした食感と、爽やかな甘みが特徴だ。

